



2021年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社PKSHA Technology 上場取引所 東
 コード番号 3993 URL http://pkshatech.com/ja
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)上野山 勝也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部長 (氏名)中田 光哉 (TEL)03-6801-6718
 定時株主総会開催予定日 2021年12月24日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の連結業績 (2020年10月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	8,727	18.0	713	12.4	635	5.4	147	△91.6
2020年9月期	7,393	141.5	634	△11.9	602	1.7	1,753	327.8

(注) 包括利益 2021年9月期 1,145百万円 (△33.1%) 2020年9月期 1,713百万円 (312.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	4.84	4.67	0.5	1.9	8.2
2020年9月期	57.79	55.19	6.5	1.9	8.6

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 △18百万円 2020年9月期 9百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	35,277	28,605	80.4	931.02
2020年9月期	31,904	27,439	86.0	904.93

(参考) 自己資本 2021年9月期 28,363百万円 2020年9月期 27,436百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	168	△13,476	1,975	12,804
2020年9月期	661	1,969	△1,108	24,137

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年9月期の連結業績予想 (2021年10月1日~2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	37.5	2,360	59.0	1,000	40.2	940	47.9	260	76.2	8.53

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 3社（社名）株式会社PRAZNA、株式会社アシリレラ、株式会社AlgoNaut
除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期	30,966,600株	2020年9月期	30,679,400株
② 期末自己株式数	2021年9月期	502,049株	2020年9月期	360,049株
③ 期中平均株式数	2021年9月期	30,464,459株	2020年9月期	30,348,762株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	1,614	△2.5	179	△2.6	455	28.4	274	△83.5
2020年9月期	1,655	4.4	184	△1.9	354	3.8	1,658	499.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期	9.01	8.68
2020年9月期	54.66	52.20

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年9月期	28,204		27,790		98.5	912.16		
2020年9月期	28,225		27,020		95.7	891.13		

(参考) 自己資本 2021年9月期 27,788 百万円 2020年9月期 27,018 百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について)

当社は、2021年11月15日（月）に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。

この説明会の資料は、2021年11月12日（金）にウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」をミッションに掲げ、主に自然言語処理、画像認識、音声解析、機械学習/深層学習技術に関わるアルゴリズムソリューションを展開しております。

Mobility & MaaS事業は、Smart City化に向けてリアル空間のオペレーションを智能化させていく取り組みを行っております。画像認識に関わるアルゴリズムを活用した新たなサービス・商品等の開発ニーズを受けて、アルゴリズムソリューション及びアルゴリズムソフトウェアを販売しております。また、IoT機器からリアル空間のデータを収集しクラウドに繋げた上で顧客への製品・サービス提供を行う取り組みの一環として、駐車場機器の製造販売・駐車場運営事業を行っております。

Cloud Intelligence事業は、デジタル空間上で行われる処理を智能化させていく取り組みを行っております。アルゴリズムの活用による既存ソフトウェアの高度化・効率化や、オペレーションのソフトウェア化といったニーズに対応するアルゴリズムソリューション及びアルゴリズムソフトウェアを提供しております。当連結会計年度において、株式会社アシリレラ（以下、「アシリレラ社」）を株式取得により子会社化、及び株式会社PRAZNA（以下、「PRAZNA社」）の全株式を当社が設立した特別目的会社(SPC)を通じて取得し子会社化いたしました。

アシリレラ社はビジネスプロセスの自動化や生産性向上を実現するソフトウェアを開発・販売しております。同社のもつRPAプロダクトに当社アルゴリズムモジュールを組み込み、レガシー環境での高度な自動化を実現し、パートナー企業を通じたシェア拡大を目指す取り組みを行っております。また、隣接に位置する当社アルゴリズムモジュール及びアルゴリズムソフトウェアとの機能連携により業界・業務別のニーズに合わせた事業展開を進めております。

PRAZNA社は当社が保有する自動応答エンジンの隣接領域において、FAQ/お問い合わせ管理システム「OKBIZ.」シリーズをはじめとする、企業向けの高品質なFAQソリューションを展開しています。自動応答エンジンとFAQサービスがシームレスに接続した顧客体験が、今後市場で求められるものと考えており、当社グループの「高品質な対話エンジン」及び「自然言語処理をはじめとした機械学習エンジニアリング」と、PRAZNA社の「高品質なFAQソリューション」及び「顧客基盤」という両者の強みを掛け合わせることで、プロダクトパッケージの高付加価値化及び顧客価値の最大化を進めております。当社グループのチャット型対話エンジン「BEDORE」シリーズとのブランド統合や機能連携を行いました。

同時に引き続き成長戦略の一環として、優秀な人材の採用を進めるとともに、ソフトウェアプロダクトの強化や研究開発の加速などの先行投資に注力してまいりました。

当連結会計年度の業績は以下のとおりであります。

売上高は8,727,071千円(前年度比18.0%増)となりました。これは主に、Cloud Intelligence事業におけるソリューションの新規案件受注の増加及び各種ソフトウェアライセンスの販売拡大と、アシリレラ社及びPRAZNA社が連結業績に寄与したことによるものです。

営業利益は713,515千円(前年度比12.4%増)、経常利益は635,542千円(前年度比5.4%増)となりました。営業利益及び経常利益が前年度を上回ったのは、第3四半期連結会計期間において、アシリレラ社及びPRAZNA社の株式取得関連費用を販売費及び一般管理費として229,957千円、PRAZNA社の株式取得に伴う金融機関からのノンリコース・ローン手数料を営業外費用として34,561千円計上したものの、前述のCloud Intelligence事業の成長が寄与したことによるものです。

親会社株主に帰属する当期純利益は147,543千円(前年度比91.6%減)となりました。前年度を下回ったのは、前年度において投資有価証券売却に伴う特別利益として2,622,221千円を計上したこと等によるものです。また、当連結会計年度において法人税等の負担率が上昇しているのは、当社の一部の子会社で生じた欠損金及び株式取得関連費用並びにのれん償却額について繰延税金資産を計上していないことによるものです。

セグメント別の経営成績は次の通りであります

(Mobility & MaaS事業)

Mobility & MaaS事業につきましては、主要顧客である駐車場運営会社からの当社の画像解析アルゴリズムやソフトウェアを用いたロックレスの駐車場機器ソリューションへのニーズは堅調だったものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い顧客の新規駐車場開設の投資意欲が低下したことで実導入のペースが鈍化し、当連結会計年度は売上高成長率が押し下げられセグメント利益は減益となっております。

この結果、売上高は5,119,137千円(前年度比2.5%減)、セグメント利益は79,424千円(前年度比75.7%減)となりました。

(Cloud Intelligence事業)

Cloud Intelligence事業につきましては、アルゴリズムの活用によるオペレーションのソフトウェア化を進めるニーズが堅調に拡大しております。このような環境の中、ソリューションの新規案件受注拡大と、自動応答エンジン「BEDORE」を中心としたソフトウェアプロダクトや、3D姿勢分析システム「シセイカルテ」の拡販を進めてまいりました。第3四半期連結会計期間において、アシリレラ社及びPRAZNA社の株式取得関連費用を229,957千円計上したものの、既存事業の成長とアシリレラ社及びPRAZNA社の連結業績への寄与もあり売上高、セグメント利益ともに増収・増益となりました。また、今後の成長に向けて人件費を中心に積極的な先行投資を実施しております。

この結果、売上高は3,616,033千円(前年度比66.8%増)、セグメント利益は785,777千円(前年度比64.6%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度末における総資産は35,277,457千円となり、前連結会計年度末に比べ3,372,771千円増加いたしました。流動資産は15,634,595千円(前連結会計年度末比10,565,322千円減)となりました。主な減少要因は、現金及び預金が11,332,343千円減少したことによるものであります。また、固定資産は19,619,407千円(前連結会計年度末比13,964,176千円増)となりました。主な増加要因は、のれんが7,481,617千円、投資有価証券が4,234,273千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債は6,671,795千円となり、前連結会計年度末に比べ2,206,149千円増加いたしました。主な増加要因は、1年内返済予定の長期借入金480,000千円、長期借入金1,618,310千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は28,605,662千円となり、前連結会計年度末に比べ1,166,622千円増加いたしました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金が979,956千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は12,804,730千円となり、前連結会計年度末に比べ11,332,343千円減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は168,230千円となりました。主な増加要因は税金等調整前当期純利益584,311千円、減価償却費463,125千円、のれん償却額307,573千円、主な減少要因は法人税等の支払額1,446,160千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は13,476,394千円となりました。主な増加要因は保険積立金の解約による収入605,785千円、主な減少要因は投資有価証券の取得による支出2,805,756千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出10,882,919千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の増加は1,975,819千円となりました。主な増加要因は長期借入れによる収入2,400,000千円、主な減少要因は長期借入金の返済による支出301,690千円、自己株式の取得による支出240,162千円であります。

(4) 今後の見通し

2022年9月期につきましては、引き続き新たなソフトウェアの開発及び共同研究を継続するとともにソリューションの提供拡大を目指します。更に既存ソフトウェアプロダクトと、当社グループに加わったアシリレラ社及びPRAZNA社とのプロダクト連携や相互送客といった形でのシナジー創出を実施し、SaaS型のソフトウェアプロダクトの業績拡大を見込んでおります。

2022年9月期の連結業績予想といたしましては、売上高12,000百万円(前年度比37.5%増)、EBITDA2,360百万円(前年度比59.0%増)、営業利益1,000百万円(前年度比40.2%増)、経常利益940百万円(前年度比47.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益260百万円(前年度比76.2%増)を見込んでおります。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,137,073	12,804,730
受取手形及び売掛金	1,081,201	1,301,610
原材料及び貯蔵品	398,054	404,549
その他	586,081	1,129,048
貸倒引当金	△2,492	△5,342
流動資産合計	26,199,918	15,634,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	304,748	305,799
土地	663,802	663,802
その他	327,663	383,926
有形固定資産合計	1,296,214	1,353,528
無形固定資産		
のれん	1,936,541	9,418,159
その他	693,229	900,243
無形固定資産合計	2,629,771	10,318,402
投資その他の資産		
投資有価証券	1,255,594	5,489,867
繰延税金資産	289,677	2,285,327
その他	183,973	172,281
投資その他の資産合計	1,729,245	7,947,476
固定資産合計	5,655,231	19,619,407
繰延資産	49,536	23,454
資産合計	31,904,686	35,277,457

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	349,504	353,231
1年内返済予定の長期借入金	181,690	661,690
未払法人税等	874,746	474,792
賞与引当金	78,747	40,091
製品保証引当金	5,823	3,669
その他	737,089	896,197
流動負債合計	2,227,601	2,429,671
固定負債		
長期借入金	2,151,180	3,769,490
繰延税金負債	—	380,387
その他	86,864	92,245
固定負債合計	2,238,044	4,242,123
負債合計	4,465,646	6,671,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,962	38,945
資本剰余金	25,118,740	25,137,613
利益剰余金	3,291,337	3,438,880
自己株式	△957,010	△1,197,172
株主資本合計	27,472,029	27,418,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35,085	944,871
その他の包括利益累計額合計	△35,085	944,871
新株予約権	2,095	1,681
非支配株主持分	—	240,842
純資産合計	27,439,040	28,605,662
負債純資産合計	31,904,686	35,277,457

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	7,393,669	8,727,071
売上原価	4,549,293	5,141,010
売上総利益	2,844,376	3,586,060
販売費及び一般管理費	2,209,666	2,872,544
営業利益	634,709	713,515
営業外収益		
受取配当金	2	37,615
受取家賃	16,541	9,922
持分法による投資利益	9,770	—
移転補償金	14,985	—
その他	10,392	13,100
営業外収益合計	51,693	60,638
営業外費用		
支払利息	29,972	26,814
株式交付費償却	33,533	26,082
支払手数料	1,913	41,314
持分法による投資損失	—	18,204
その他	18,009	26,195
営業外費用合計	83,429	138,611
経常利益	602,973	635,542
特別利益		
投資有価証券売却益	2,622,221	—
固定資産売却益	—	903
特別利益合計	2,622,221	903
特別損失		
投資有価証券評価損	432,170	36,083
固定資産除却損	61,405	5,151
その他	24,987	10,898
特別損失合計	518,563	52,133
税金等調整前当期純利益	2,706,631	584,311
法人税、住民税及び事業税	1,127,989	525,850
法人税等調整額	△175,164	△107,285
法人税等合計	952,825	418,565
当期純利益	1,753,805	165,746
非支配株主に帰属する当期純利益	—	18,203
親会社株主に帰属する当期純利益	1,753,805	147,543

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	1,753,805	165,746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,652	979,956
その他の包括利益合計	△40,652	979,956
包括利益	1,713,153	1,145,703
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,713,153	1,127,500
非支配株主に係る包括利益	—	18,203

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	12,554,220	12,553,220	1,537,531	—	26,644,971
当期変動額					
新株の発行	15,131	15,131			30,262
自己株式の取得				△957,010	△957,010
資本金から資本剰余金への振替	△12,550,389	12,550,389			—
親会社株主に帰属する当期純利益			1,753,805		1,753,805
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	△12,535,257	12,565,520	1,753,805	△957,010	827,057
当期末残高	18,962	25,118,740	3,291,337	△957,010	27,472,029

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	5,567	5,567	2,371	—	26,652,911
当期変動額					
新株の発行					30,262
自己株式の取得					△957,010
資本金から資本剰余金への振替					—
親会社株主に帰属する当期純利益					1,753,805
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△40,652	△40,652	△275		△40,928
当期変動額合計	△40,652	△40,652	△275	—	786,129
当期末残高	△35,085	△35,085	2,095	—	27,439,040

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,962	25,118,740	3,291,337	△957,010	27,472,029
当期変動額					
新株の発行	19,983	19,983			39,967
自己株式の取得				△240,162	△240,162
親会社株主に帰属する当期純利益			147,543		147,543
連結子会社株式の取得による持分の増減		△1,111			△1,111
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	19,983	18,872	147,543	△240,162	△53,762
当期末残高	38,945	25,137,613	3,438,880	△1,197,172	27,418,266

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△35,085	△35,085	2,095	—	27,439,040
当期変動額					
新株の発行					39,967
自己株式の取得					△240,162
親会社株主に帰属する当期純利益					147,543
連結子会社株式の取得による持分の増減					△1,111
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減				222,639	222,639
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	979,956	979,956	△414	18,203	997,745
当期変動額合計	979,956	979,956	△414	240,842	1,166,622
当期末残高	944,871	944,871	1,681	240,842	28,605,662

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,706,631	584,311
減価償却費	414,130	463,125
のれん償却額	118,046	307,573
持分法による投資損益(△は益)	△9,770	18,204
固定資産除却損	61,405	5,151
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,622,221	—
投資有価証券評価損益(△は益)	432,170	36,083
支払利息	29,972	26,814
株式交付費償却	33,533	26,082
売上債権の増減額(△は増加)	△194,198	210,933
仕入債務の増減額(△は減少)	17,589	1,801
前受金の増減額(△は減少)	104,879	△113,135
未払金の増減額(△は減少)	11,539	30,944
その他	△25,612	△3,489
小計	1,078,096	1,594,402
利息及び配当金の受取額	233	37,501
利息の支払額	△24,828	△20,623
法人税等の支払額	△392,188	△1,446,160
法人税等の還付額	—	3,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	661,313	168,230
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△181,530	△151,655
無形固定資産の取得による支出	△308,186	△326,534
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△10,882,919
投資有価証券の売却による収入	2,951,280	—
投資有価証券の取得による支出	△459,570	△2,805,756
保険積立金の解約による収入	—	605,785
その他	△32,505	84,686
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,969,487	△13,476,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,400,000
長期借入金の返済による支出	△181,690	△301,690
非支配株主からの払込みによる収入	—	120,000
株式の発行による収入	29,986	38,441
自己株式の取得による支出	△957,010	△240,162
その他	—	△40,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,108,714	1,975,819
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,522,087	△11,332,343
現金及び現金同等物の期首残高	22,614,986	24,137,073
現金及び現金同等物の期末残高	24,137,073	12,804,730

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。したがって、当社グループはサービス別のセグメントから構成されており、「Mobility & MaaS事業」、「Cloud Intelligence事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、「Mobility & MaaS事業」はSmart City化に向けたリアル空間のオペレーションを智能化させていく領域、「Cloud Intelligence事業」はデジタル空間上で行われる処理を智能化させていく領域で事業を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法」と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	Mobility & MaaS	Cloud Intelligence	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,226,254	2,167,414	7,393,669	—	7,393,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	24,005	—	24,005	△24,005	—
計	5,250,259	2,167,414	7,417,674	△24,005	7,393,669
セグメント利益	327,004	477,493	804,497	△169,788	634,709
セグメント資産	5,202,075	2,494,091	7,696,166	24,208,519	31,904,686
その他の項目					
減価償却費	220,621	193,509	414,130	—	414,130
のれんの償却額	99,819	18,227	118,046	—	118,046
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	193,939	295,776	489,716	—	489,716

(注) 1. セグメント利益の調整額△169,788千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額24,208,519千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の現金及び預金等であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	Mobility & MaaS	Cloud Intelligence	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,119,137	3,607,933	8,727,071	—	8,727,071
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8,100	8,100	△8,100	—
計	5,119,137	3,616,033	8,735,171	△8,100	8,727,071
セグメント利益	79,424	785,777	865,201	△151,686	713,515
セグメント資産	4,732,217	16,566,030	21,298,248	13,979,209	35,277,457
その他の項目					
減価償却費	228,406	234,718	463,125	—	463,125
のれんの償却額	99,921	207,652	307,573	—	307,573
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	271,986	8,258,426	8,530,413	—	8,530,413

- (注) 1. セグメント利益の調整額△151,686千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額13,979,209千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の現金及び預金等であります。
3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	904.93円	931.02円
1株当たり当期純利益	57.79円	4.84円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	55.19円	4.67円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,753,805	147,543
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,753,805	147,543
普通株式の期中平均株式数(株)	30,348,762	30,464,459
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	1,428,540	1,142,212
(うち新株予約権(株))	(1,428,540)	(1,142,212)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要		—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。